教育課程概念図（カリキュラムマップ）
（2024年度履修のてびき）

建学の精神	地域のニーズ	教育目的	育成する人材像	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー（CP1・CP2・CP3・CP4・CP5）	科目区分			開講期								学習成果	
									CP1：1年次を教員としての「基盤形成」、2年次を「専門基礎」、3年次を「専門展開」、4年次を「統合と探求」の時期とし、「共通基礎科目」と「専門教育科目」に分け、体系的に教育課程を編成する。									
									1年次		2年次		3年次		4年次			
									基盤形成		専門基礎		専門展開		統合と探求			
									到達目標 共通基礎科目 ・ 豊かな人間性を涵養する。 ・ 高いコミュニケーション力とリーダーシップを身につける。 ・『地域力』（郷土を支える意欲と課題解決力）を身につける。 専門教育科目 ・ 教育者・保育者としての使命感を身に付ける。 ・ 子どもと教科・保育内容への基礎的理解を深める。				・ 主体的に学び、探求し、独自の発想で問題の解決にあたる創造的思考力を身につける。 小幼コースの到達目標 ・ 実践力：教科への深い理解と指導力を身につける。 ・ 支援力：子どもに寄りそい、その主体性と協同性を高める学級経営力を身につける。 幼保コースの到達目標 ・ 実践力：子どもの生活を豊かにする保育の表現力と環境構成力を身につける。 ・ 支援力：子どもと保護者の気持ちに寄り添い支援する子育て・子育ち支援力を身につける。					
									前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
キリスト教的価値観に基づく人格形成		建学の精神を背景とした豊かな人間性をもった人材の育成	人間性豊かな教育者・保育者	DP1	CP2：建学の精神を背景とした豊かな人間性を有するリーダーを養成するために「信愛教育の基礎」「教育者の教養」「保健体育」を、そして、世代を越えて友好な関係を造る高い「コミュニケーション力」を育むために「リテラシー」を、「共通基礎科目」の教養科目群に開設する。	共通基礎科目	教養科目	保健・体育	●スポーツと健康Ⅰ（講義） ●スポーツと健康Ⅱ（実技）								健康	
								教育者の教養	●日本国憲法 ○健康教育 ○情報処理論	○国際教育論 ○子どもと遊び	○人類生態学概論 ○子どもと文学 ○現代メディア論	○こころの科学 ○生命と進化					広い視野	
								信愛教育の基礎	●信愛教育Ⅰ ●ボランティア実習	●いのちと倫理		●信愛教育Ⅱ					人間愛・リーダーシップ	
			人と人との繋がりを重視し、地域と社会を支え導くリーダーの育成	地域のリーダーとなる教育者・保育者				リテラシー	●日本語表現 ●英語コミュニケーションⅠ	●情報処理演習Ⅰ ●英語コミュニケーションⅡ	●情報処理演習Ⅱ ○フランス語コミュニケーション ○中国語コミュニケーション						コミュニケーション力	
				DP2														
地域と社会に貢献する人材の育成	地域再生を担う人材		子どもと地域の未来に貢献する教育者・保育者	DP3	CP3：「働く」ことを通して地域社会に貢献する人材を養成するために「教師塾」を「共通基礎科目」の教養科目群に開設する。			教師塾	●教職キャリアデザイン ●教職基礎ゼミナール ●教職基礎実習		△インターンシップ（事前・事後指導を含む）		●キャリアガイダンスⅠ △教師への道Ⅰ	△教師への道Ⅱ	△キャリアガイダンスⅡ △教師への道Ⅲ △実践キャリア教育		キャリアプランニング力	
					CP4：地域課題を解決する意欲と能力を育むために「紀の国わかやまと世界」「地域探求科目」を、「共通基礎科目」の地域連携科目群に開設する。		地域連携科目	紀の国わかやまと世界	●世界の中の和歌山	○歴史・文化と風土 ○郷土の自然	○まちづくりの経済学 ○地域の生活文化	○文学と郷土					地域力	
								地域探求科目	△地域連携フィールド学習		●地域力再生論 ●地域連携フィールドゼミナール			●地域防災教育論				
	保幼小の連結を担う質の高い教育者・保育者	一人ひとりの個性を認め、その可能性を信じて最大限に伸ばせる人材の育成	実践力と支援力を有した教育者・保育者			専門教育科目	理念・理論		●教職論 ●教育原理 ●保育原理	●教育制度論							使命感・責任感・教育的愛情	実践力
										●子ども家庭福祉	●社会福祉	●社会的養護						
									●教育課程総論 ●保育内容総論	●教育方法論（ICT活用含む） ●保育の計画と評価							教育的指導力	
					CP5：乳幼児・児童の教育・保育現場に起こる問題に臨機応変に対応できる高い「実践力」を育むために「理念・理論」「教科・保育内容の専門領域」「子ども理解」「教育・保育の指導法」「実習」を、子ども一人ひとりに寄り添い、その可能性を信じて伸ばすことのできる「支援力」を育むために「子どものニーズ支援」を、そして、主体的に学び、探求し、他者と協働関係を築いて課題解決に取り組む「創造的思考力」を有した教育者・保育者を養成するために「課題探求科目」を、「専門教育科目」に開設する。		教科・保育内容の専門領域	教育・保育の指導法	○図画工作 ○音楽 ○鍵盤演奏入門 ○生活			●初等教科教育法（図画工作） ●初等教科教育法（音楽） ○器楽 ○体育 ○野外活動演習 ○国語（書写を含む） ●初等教科教育法（国語） ●初等教科教育法（生活） ○子どもと表現 ○子どもと言葉	○造形表現研究 ○音楽表現研究 ○幼児体育	○鍵盤楽器の表現技法 ○幼児体育指導法			
										○子どもと健康 ○子どもと環境									
												○子どもと人間関係 ●保育内容の指導法Ⅰ ○算数 ○理科 ○社会 ○家庭 ○初等英語 △特別活動指導論	●保育内容の指導法Ⅱ △初等教科教育法（算数） △初等教科教育法（理科） △初等教科教育法（社会） △初等教科教育法（家庭） △初等教科教育法（英語） △総合的な学習の時間指導論					
													△道徳教育指導論 △乳児保育Ⅰ	△乳児保育Ⅱ				
								子ども理解	●発達心理学	●教育心理学	●幼児理解の理論と方法	△子どもの保健	△子ども家庭支援の心理学 △子どもの健康と安全 △子どもの食と栄養Ⅰ	△子どもの食と栄養Ⅱ			子ども理解	
								子どものニーズ支援					●特別支援教育・保育Ⅰ ●教育相談支援 △子育て支援演習 △社会的養護演習 △生徒指導・進路指導の理論と方法	●特別支援教育・保育Ⅱ △地域と子育て支援			支援力	
								実習			△幼稚園実習指導Ⅰ △幼稚園実習Ⅰ	△保育実習指導Ⅰ（施設） △保育実習Ⅰ（施設）	△小学校実習指導 △小学校実習 △幼稚園実習指導Ⅱ △幼稚園実習Ⅱ △保育実習指導Ⅰ（保育所） △保育実習Ⅰ（保育所）	△保育実習指導Ⅱ △保育実習Ⅱ	△保育実習指導Ⅲ △保育実習Ⅲ			社会性・対人関係能力	実践力
			創造的思考力を有した教育者・保育者	DP5			課題探求科目	研究実践					○教科実践研究 ○保育内容実践研究			○教職実践演習（幼・小） ○保育・教職実践演習（幼）	創造的思考力	
								研究総合					●専門ゼミナールⅠ		●専門ゼミナールⅡ ●卒業研究			

ディプロマ・ポリシー

DP1： 一人ひとりを大切にする人間愛と広い視野、それらを支える心身の健康を身に付けている。

DP2：人と人との繋がりを重視した高いコミュニケーション力で、世代を越えて友好な関係を構築し、奉仕の精神で周囲の信頼を得て主体的に協力してもらえる状況を作り出すことができる。

DP3：郷土を支える意欲と課題解決力を有し、子どもと地域の将来に貢献する教育者としての自覚をもって行動できる。

DP4：乳幼児期から学童期までの継続性に理解のある教育・保育を担う専門的実践力と、子ども一人ひとりに寄り添う支援力を身に付けている。

DP5：主体的に学び、探求し、独自の発想で子どもや地域に関わる問題の解決にあたることができる。

●卒業必修科目　○選択必修科目　△選択科目